

# 知っておきたい**保険**のはなし

## 猫劇場

### ～ストップ車両盗難！編～

じゅじゅ  
**寿**  
しっかり者の  
お姉さん猫



**はっば**  
わがまま、  
気まぐれな  
妹猫

知っておいたら役に立つ保険の知識。でも、難しくてよく分からない…。そんな保険のおはなしを、寿寿とはっばが分かりやすく解説します。

監修/アストのほけん



突然だけど、車両盗難の対策はしているかしら？

警視庁が発表した2021年の自動車盗難件数は5,182件。  
被害総額、97億円。毎日14台の車が盗まれてるってことね。



ええ！毎日14台？多すぎじゃない？！



犯罪組織が暗躍しているのよ。

盗まれた車は、海外へ輸出されることがほとんどね。盗まれた車は、犯罪組織の作業所に運ばれ一時的に保管されたり、解体されたりして売られて行くの。解体して売られる場合は、海外で組み立て直して売られたり、部品として売られたり様々。実際に海外では、不正輸出された盗難車の部品が沢山見つかっているんですって！



泥棒、そうやって荒稼ぎしてるってわけね…引かいてやりたいにゃ！



車そのもの以外にも、ナビやナンバーのみの盗難も多いの。盗んだナンバーを別の車に付けて、窃盗や他の犯罪に使うこともあるそうね。



ええ！自分のナンバー付けた車で犯罪とか、嫌すぎなんだけど！！



車を盗む手口って、昔はピッキングとか物理的なものが多かったの。でも最近は車の電子制御化に伴い、盗難手口も複雑化。盗難車の75%が、しっかり施錠していたにもかかわらず盗難被害に遭ったなんてデータも。盗難の代表的な手口は、この3つ。



#### ①リレーアタック

車のスマートキーから常時発信されている微弱電波を、車の持ち主に近づき特殊な機械でコソソ受信。その電波を車の近くに居る仲間へ送信して偽造キーを作成し、ドアの開閉からエンジン始動までしてしまう。



#### ②コードグラバー

キーレスキー操作で発する解錠電波を遠方から盗み、偽造キーを作成し解錠する。解錠の電波のみなのでエンジンはかけられず、車上荒らしに使用される。



#### ③CANインバーダー

車の電子制御システム（CAN通信）に直接アクセスし乗っ取ってしまう！スマホ1台あればできると言われている、最も恐ろしい手口。



うわ…もう、こんな狙われたら最後じゃない！！



そんなときに頼れるのが盗難防止機器！

スマートキーの微弱電波を遮断する電波遮断キーケースや、GPS追跡装置・センサー式警報装置が有名ね。結局「最強は物理制御」ってことで、パー式ハンドルロック・タイヤロック・ペダルロックも人気みたい。モ子ロン、ナンバーやタイヤ等部品の盗難防止対策、自宅駐車場の防犯対策も忘れないでね？



泥棒になんて、負けないにゃ！！